

兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物一続報

島崎 正美¹⁾

兵庫県におけるシルビアシジミ *Zizina emelina* (環境省のレッドリストで絶滅危惧 I B 類選定: 以下, 本種) の吸蜜植物に関しては広畑・近藤 (2007) に, ミヤコグサ, シロツメクサ, ヒメジョオン, ニガナ, キツネノマゴ, カタバミの 6 種が示されており, 筆者が新たにアメリカセンダングサ, ツリガネニンジン, ヨメナの 3 種を確認して報告した (2015).

筆者はギフチョウとヒメヒカゲの保護を目的とするボランティア活動団体である「加古川の里山・ギフチョウ・ネット」の一員であるが, 単独でシルビアシジミの生態調査も継続しており, 吸蜜植物に関しては 2015 年 9 月にツリガネニンジンでの吸蜜という珍しいシーンに出会えたのを契機に関心をもって観察をしている.

今回, 本種の吸蜜植物に関する過去の未発表記録を見直してオオニシキソウ (写真 1: Sep. 16, 2007) とオオイヌノフグリ (写真 2: May 3, 2010) での吸蜜例を確認し, 新たに 5 種の植物: アリアケスミレ (写真 3: Apr. 16, 2016), カンサイタンポポ (写真 4: Apr. 16, 2016), ヒメハギ (写真 5: Apr. 16, 2016), ヒナギキョウ (写真 6: Apr. 24, 2016), コメツブウマゴヤシ (写真 7: Apr. 24, 2016) での吸蜜を観察記録でき, 花が終わって綿毛状態となったカンサイタンポポに口吻をのぼす珍しい吸蜜シーンも記録できたので合わせて報告する (写真 8: Apr. 23, 2016). なお, すでに記載例のあるニガナについても吸蜜シーンの画像記録を示した (写真 9: Apr. 23, 2016). アリアケスミレ, カンサイタンポポ, ニガナ, ヒメハギでの吸蜜個体は同一オスで, 数分間に次々と 4 種の花蜜を吸ったことになる. これらの花はミヤコグサがまだいっせいに開花しない時期の吸蜜源としての利用だと考えられる. ヒナギキョウは現地でミヤコグサと混生し, 開花の時期も重なって花の数も多いが, 優先順位は圧倒的にミヤコグサの方が高く, 本種が訪花するシーンは滅多に見られない. 2016 年 4 月にこの花での吸蜜を三度だけ記録できたが, 二度目までは訪花した際に他の本種が近づいてすぐに飛んだりして証拠的な小さな画像記録しか撮れなかったため, 翌日にも現地を再訪問してようやく確実な吸蜜シーンを記録できた. ヒナギ

キョウではベニシジミの吸蜜も当日に観察している. オオニシキソウの画像は吸蜜を示す記録になっていないが, 当日口吻を伸ばして吸蜜する場面が観察できていることを付記しておく. 今回の報告で, 兵庫県におけるシルビアシジミの吸蜜植物は合計で 16 種となる.

観察記録地は兵庫県加古川市内の 2 か所であるが, 具体的な地名の記載は差し控える. 前報に記したように, 加古川市は全国的に減少傾向にある本種がミヤコグサを食草として安定的に生息している草地在複数存続する貴重な地域である.

ミヤコグサはススキ, チガヤ, ヨモギなど繁殖力の強い植物との競合にはとても弱い植物だが, 本種の生息地では定期的に実施される適度の野焼きが一時的であっても繁殖力の強い植物群を焼き払うことから, 背丈の高い草に覆われつくされることが少ない状況下で, 強く根をはって群生状態を維持できている. 飛翔力が弱く行動範囲が広くない本種は, そのようなミヤコグサが安定的に生育する限られた草原環境下で, ミヤコグサ以外にもいろんな草花を蜜源として世代をつないでいる. 本種の飛翔はゆるやかで, なおかつ行動範囲が食草の生育する狭い範囲に限られるという点でヒメヒカゲ (環境省のレッドリストで絶滅危惧 I B 類選定) の生息状況によく似ており, いずれも採集者がねらえば容易に捕獲されてしまうことが懸念される.

本種の吸蜜植物について, 成虫が活動する時期に生息地での開花が確認できているノアザミ, セイタカアワダチソウ, セイヨウタンポポ, ブタナ, ニワゼキショウ, リンドウ, イヌセンブリなどが未確認種として残るが, いずれも本種が訪花を嫌う要素はないように思われ, イチモンジセセリがよく吸蜜をするリンドウは期待できる. なお, 前報に示した画像の撮影日を以下のように補足しておく.

ミヤコグサ:	Sep. 30, 2015
カタバミ:	Sep. 30, 2015
ヨメナ:	Oct. 30, 2013
アメリカセンダングサ:	Oct. 30, 2013
ツリガネニンジン:	Sep. 30, 2015

¹⁾ Masami SHIMAZAKI 兵庫県高砂市

参考文献

広畑政巳, 近藤伸一, 2007, 兵庫県の蝶, 330pp. p.152,
岩峰社, 東京
島崎正美, 2015, きべりはむし, 38(1), 4-5



写真1 オオニシキソウ.



写真2 オオイヌノフグリ.



写真3 アリアケスミレ.



写真4 カンサイタンポポ.



写真5 ヒメハギ.



写真6 ヒナギキョウ.



写真7 コメツブウマゴヤシ.



写真8 カンサイタンポポ (綿毛).

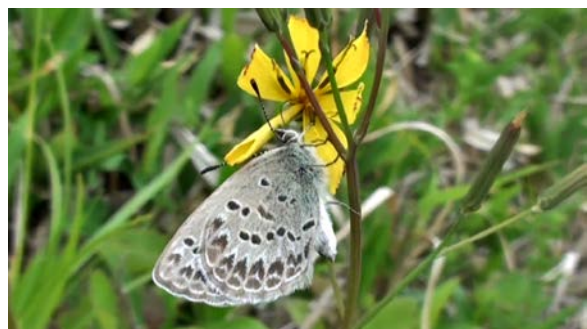


写真9 ニガナ.